

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和5年4月25日（火）10時00分～10時40分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

星上席技術研究調査官、佐藤管理官補佐、安部室長補佐（テレビ会議システムにて参加）

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムにて参加）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

1～4号周辺屋外対応PJG 担当者 5名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、3／4号機排気筒解体に向けた現場調査の実施方針等について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、調査目的、調査範囲、調査箇所の選定の考え方等について確認するとともに、今後予定されている排気筒の解体・撤去時の対応も含めて以下の点について留意するよう、東京電力に伝達した。

✓ SGT S配管の調査箇所について、配管曲がり部などが溜まりやすいと考えられる箇所を中心に選定すること。

✓ 屋外に露出しているSGT S配管について、表面の放射線量率の測定を可能な限り実施すること。

✓ 解体・撤去する排気筒及びSGT S配管について、撤去後に配管内部等を調査することを念頭に解体・撤去の作業方針を検討すること。

○また、原子力規制庁から、以下の点について対応するよう、東京電力に伝達した。

✓ 資料中に示されている筒身内部調査等の結果について、まとまった段階で説明すること。

✓ 排気筒解体の作業方針について、まとまった段階で説明すること。

○上記に対して、東京電力から了解した旨の返答があった。

6. 資料

➤ 3／4号機排気筒解体に向けた現場調査の実施状況について

以上